

【ブリーディング低減型】  
AE減水剤（高機能タイプ）

# ヤマソー 16NB / 16NBR

ヤマソー16NB および 16NBR は、優れたセメント分散性能とスランプ保持性能に加えて、ブリーディング低減性能を有する高機能タイプのAE減水剤です。従来のAE減水剤に比べて、ブリーディング量を大幅に低減することが可能であり、耐久性に優れたコンクリートを製造することができます。

## 特長

- 従来のAE減水剤を使用したコンクリートに比べて、ブリーディング量を大幅に低減することが可能です。
- 従来のAE減水剤に比べて、高い減水性能(減水率 16%)とスランプ保持性能を有しています。
- ヤマソー16NBはJIS A 6204「コンクリート用化学混和剤」のAE減水剤標準形(I種)に、ヤマソー16NBRは、AE減水剤遅延形(I種)に適合します。

## 主成分、物性および使用方法

製品名	区分	主成分	密度の範囲 (g/cm <sup>3</sup> 、20°C)	使用量※1 (C×%)	塩化物イオン (Cl <sup>-</sup> )量※2 (%)	全アルカリ量※2 (%)
ヤマソー16NB	標準形 I 種	ポリカルボン酸系化合物と特殊界面活性剤	1.01~1.06	1.0 { 0.7~1.6 }	0.01 【0.00kg/m <sup>3</sup> 】	0.2 【0.01kg/m <sup>3</sup> 】
ヤマソー16NBR	遅延形 I 種		1.02~1.07		0.01 【0.00kg/m <sup>3</sup> 】	0.2 【0.01kg/m <sup>3</sup> 】

※1 ヤマソー16NB および 16NBR の標準使用量はセメント質量に対して 1.0%です。{ }内は使用量の範囲です。

※2 塩化物イオン(Cl<sup>-</sup>)量および全アルカリ量は分析値例であり、【 】は C=300kg/m<sup>3</sup> の場合に 1m<sup>3</sup>に導入される量です。

・空気量の調整は、弊社の空気量調整剤を別途使用して、所定の空気量を得るようにして下さい。

・ヤマソー16NB および 16NBR は、単位水量の一部となりますので、使用量に応じて練混ぜ水を補正して下さい。

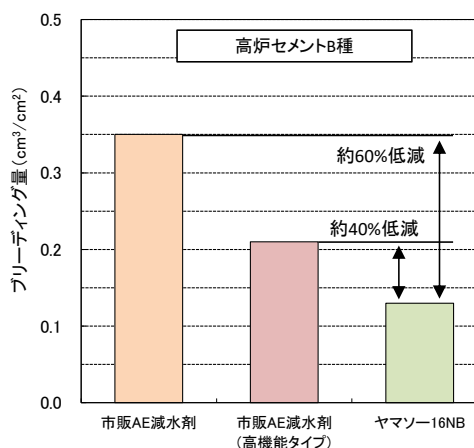
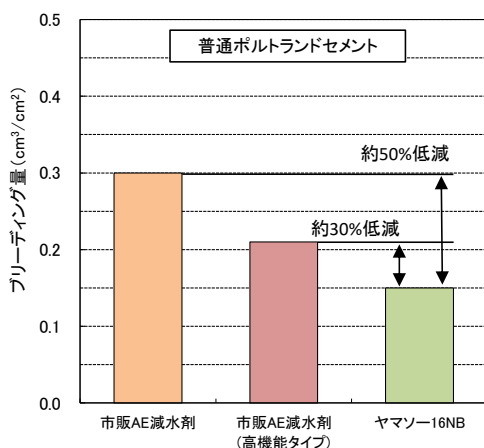
## 試験結果例

～試験条件～

W/C=57.5%，スランプ=18cm（普通ポルトランドセメント），スランプ=15cm（高炉セメント B 種），空気量=4.5%，温度 20°C

～使用材料～

セメント : 普通ポルトランドセメント(密度 3.16 g/cm<sup>3</sup>)，高炉セメント B 種(密度 3.04 g/cm<sup>3</sup>)  
 細骨材 : 山砂(密度 2.61 g/cm<sup>3</sup>)，砕砂(密度 2.62 g/cm<sup>3</sup>) 混合比 50:50  
 粗骨材 : 硬質砂岩碎石(密度 2.64 g/cm<sup>3</sup>)  
 混和剤 : 市販 AE 減水剤，市販 AE 減水剤(高機能タイプ)，ヤマソー16NB 使用量 C×1.0%



## JIS A 6204 形式評価試験結果例

試験項目	ヤマソ-16NB		ヤマソ-16NBR		
	AE減水剤 標準形 規定値	試験値	AE減水剤 遅延形 規定値	試験値	
減水率 (%)	10 以上	16	10 以上	16	
ブリーディング量の比 (%)	70 以下	36	70 以下	48	
凝結時間の差 (min)	始発	-60~+90	+10	+60~+210	+75
	終結	-60~+90	+10	0~+210	+85
圧縮強度比 (%)	材齢 7 日	110 以上	129	110 以上	134
	材齢 28 日	110 以上	117	110 以上	122
長さ変化比 (%)	120 以下	101	120 以下	98	
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60 以上	94	60 以上	93	

注)一般財団法人 建材試験センターによる形式評価試験結果 ( ヤマソ-16NB および 16NBR の使用量 C×1.0% )

## 使用上および取扱い上の注意

1. コンクリートの性状は、使用材料、配(調)合、温度などの条件により変わる場合がありますので、あらかじめ試し練りによって性状を確認して下さい。
2. 使用量の範囲を超えて添加した場合には、凝結時間が遅れることがあります。
3. 異物や雨水、他の混和剤などが混入しないように、また、凍結しないように(凍結温度 0°C)保管して下さい。
4. 凍結した場合には、ゆっくりと暖めながら静かにかくはんし、融解して下さい。
5. 皮膚についた場合は、水と石鹼でよく洗い落として下さい。
6. 眼に入った場合は直ちに清浄な水と石鹼で十分に洗浄した後、眼科医の手当てを受けて下さい。
7. 万一誤飲した場合には、口腔内を洗い、速やかに医師の診断を受けて下さい。  
詳細は、安全データシート(SDS)の内容を参照して下さい。

## 荷 姿

バルク

- ここに記載された事項は、細心の注意を払って行なった弊社の実験データに基づくものですが、実際の現場における結果をすべて確実に保証するものではありません。したがって、需要家各位にて十分ご検討のうえ、ご使用下さいますようお願い致します。



本 社	〒104-0032	東京都中央区八丁堀2丁目2番5号	☎03(3552)1341
東 京 営 業 部	〒104-0032	東京都中央区八丁堀2丁目2番5号	☎03(3552)1261
大 阪 支 店	〒530-0041	大阪市北区天神橋3丁目3番3号	☎06(6353)6051
福 岡 支 店	〒812-0008	福岡市博多区東光2丁目6番6号	☎092(483)8567
札 幌 支 店	〒006-0001	札幌市手稲区西宮の沢1条2丁目3番45号	☎011(662)5552
広 島 営 業 所	〒733-0005	広島市西区三滝町14番4号	☎082(237)3083
仙 台 営 業 所	〒980-0004	仙台市青葉区宮町3丁目9番27号	☎022(224)0321
北 陸 営 業 所	〒910-0001	福井市大願寺2丁目9番1号 福井開発ビル403	☎0776(28)2566
平 塚 事 務 所	〒254-0016	平塚市東八幡3丁目6番22号	☎0463(23)5536
静 岡 出 張 所	〒422-8032	静岡市駿河区有東2丁目5番21号 テレピア静岡101	☎054(202)5111
高 松 出 張 所	〒760-0075	高松市楠上町1丁目5番15号 リビエール楠上103	☎087(863)7565